

共に創る未来へ

名工大の女子学生・女性研究者からのメッセージ



工学の未来を担うみなさんへ

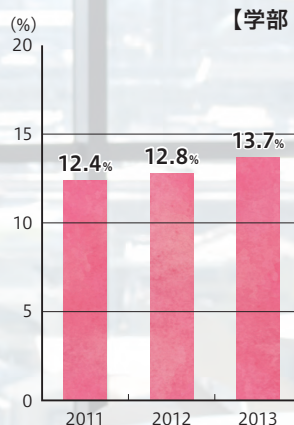
工学は、毎日を豊かにする技術の研究・開発を使命として、20世紀に目覚ましい発展をとげました。しかし今、暮らしの理想像は大きく変わり、心の豊かさや安心など精神的な価値が重視され、より複雑なニーズが生じています。そうした時代の要請に伴って、工学も新しい幸福感・価値観に寄与するように柔軟で多様なものへと急速に変貌を遂げつつあります。そんな変革をさらに後押しできるのは、これまで工学において常に少数派であった女性たちの新しい着眼点や発想です。多くの女子学生みなさんが、最新の知識を身につけ、力強く社会へと羽ばたいてくれること、そして、新しい暮らしの創出に携わってくれることに、今、多くの人々が期待を寄せています。

本誌では、女子学生の皆さんが工学の担い手として、ご自身の充実した未来を思い描くことができるよう、ほんの少し先を行く先輩たちのさまざまな活躍の様子を紹介しています。

輝く未来への道しるべとして、どうぞご活用ください。

2019年3月 学長特別補佐（ダイバーシティ推進担当）

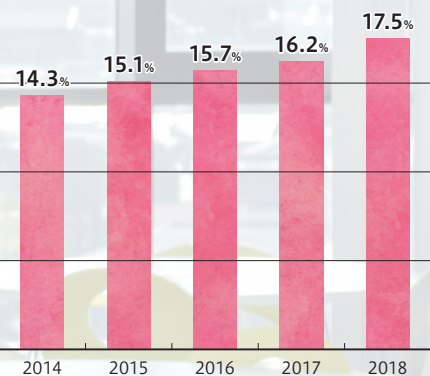
藤岡 伸子 Nobuko Fujioka



名古屋工業大学的女子学生比率は年
人が19.9%を占めています。工学系

全学年の女子学生比率】

(2018年5月1日現在)



々増加し、2018年度入学者(学部)のうち、女子学生(193
単科大学としては、女子学生数はトップクラスです。

index

●座談会「わたしたちの大学生活」 4

名工大の学生ってどんな生活!? 5

●インタビュー

【大学院生】

前田 真衣
大学院工学研究科 生命・応用化学専攻 2年 6

谷山 友理
大学院工学研究科 物理学専攻 1年 6

伊藤 鈴
大学院工学研究科 社会学専攻 2年 7

古山 実季
大学院工学研究科 電気・機械工学専攻 2年 7

【技術者・研究者】

井上 香菜子
オリンパス株式会社
デザインセンター商品デザイングループ 8

西村 幸子
株式会社メニコン 商品開発本部 臨床研究部
プロフェッショナルリレーションリーダー 9

岡本 佳子
トヨタ自動車株式会社
第2電動パワートレシテム開発部 第21システム開発室 主幹 10

中居 楓子
大学院工学研究科 社会学専攻 助教 11

武藤 敦子
大学院工学研究科 情報工学専攻 准教授 12

●名工大女子ライフ 13

●進学・就職状況 14

●イベント紹介 15

※本誌に掲載の情報は取材時のものです。

「わたしたちの大学生活」

女子学生団体「彩綾～SAYA～」に所属する3人の現役女子学生に、大学生活について自由に語ってもらいました！

竹山 友理さん

工学部 生命・応用化学科
学部3年
滝高校出身

石牧 祐香さん

工学部 創造工学教育課程
情報・社会コース 学部3年
金城学院高校出身

中村 愛さん

工学部 電気・機械工学科
学部2年
愛知県立豊田北高校出身

—名古屋工業大学に入学して

石牧 私は理科が得意だったことと、ものづくりに興味があったことから名古屋工業大学への入学を決めました。女子校出身なので入学当初は男子が多いことに不安を感じていましたが、夏休みに入る頃にはすっかり慣れました(笑)。勉強を教えるなど、今ではみんな仲良しです。

竹山 女子が少ないことで、かえて女子同士の友情が深まっているような気がします。私が在籍する生命・応用化学科は半数近くが女子なので、特に男子が多いと意識することなく大学生活を送れています。授業は必修が多く、難しい内容もありますが、学内の先輩に相談できる学習室があるなど、勉強しやすい環境が整っているので、授業に付いていくのが大変という学生は少ないですね。

中村 私は電気・機械工学科に在籍していますが、自動車やテレビ、パソコンなど、普段の生活で使っている製品につながる技術を専門的に学べてとても面白いです。将来は企業に就職してエンジニアになる道も考えています。女子が少ない分野なので、名古屋工業大学で学んだことが将来、

就職するときに強みになるんじゃないかと思っています。

—「彩綾」の活動について

石牧 彩綾の活動は、「学内の女子学生の交流」と、「女子学生のキャリア支援」を2本柱として掲げています。私も、もっと女子の友達を増やしたいと思ったのと、実際にどんな企業でどのように女性が活躍しているのかを知りたいと思い、彩綾に入りました。

中村 私はかつて代表を務めていた先輩の話を聞き、活動への姿勢がカッコいいなと憧れたのが彩綾に入ったきっかけです。他学年や他学科の人たちと幅広くつながることができるのも魅力だと思います。将来、大学院に進むか就職するかを迷っていますが、彩綾の活動を通して企業の方々や先輩たちの話を聞くうちに、早く社会に出て多くの人と関わりたいという思いが強くなりました。

竹山 彩綾の全体会議は月に2回なので、ほかの学生生活との両立も難しくありません。実際私も、マネージャーとしてアメフト部の活動にも力を入れています。アルバイトやサークルと彩綾の

「彩綾～SAYA～」とは？

女子学生団体「彩綾～SAYA～」は、学科・学年を超えた女子同士の交流や、女子のキャリアをサポートすることを主な目的として活動しています。約50人のメンバーが所属し、企業とコラボしたイベントの企画や、女子学生向け情報誌の発行などを行っています。



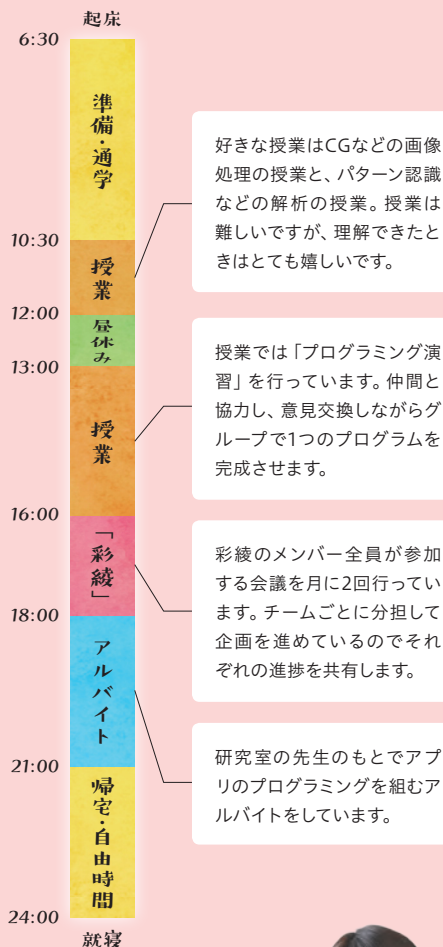
活動を両立している子は多いですね。

石牧 彩綾では毎年、OGの方やさまざまな企業の人事の方と交流できる「女性技術者交流会」を開催しています（P15参照）。一年で最も大きなイベントで、メンバーが協力して自らの手で企画から運営まで行っています。その際に私も、重要な役割を任せさせていただき、先輩に教えてもらいながらやり遂げることができました。

中村 私は参加企業の方とのメール連絡を担当し、メールや敬語の使い方など、社会に出て役立つマナーを知ることができました。普段の学業だけではできない経験ができ、彩綾に入って良かったと改めて感じました。

竹山 私も2年連続でこのイベントの運営に関わらせていただいています。ゲストとしてお招きする女性社員の方は、みなさん生き生きと働いていて、キラキラ輝いて見えます。漠然と将来を決めるのではなく、こういう機会を通してさまざまな働き方への理解を深めてから社会に出ることが大切です。多くの先輩と出会え、将来を考える機会を持つことができる「彩綾」の活動を今後も続け、広げていきたいです。

名工大の学生って どんな生活!?



創造工学教育課程は、他の学科より授業が多いので大変ですが、試行錯誤して作ったプログラムがちゃんと動いた時は達成感があります！彩綾の活動やアルバイトも楽しく、毎日が充実しています。



工学部 創造工学教育課程
情報・社会コース
学部3年

石牧 祐香さん



前田 真衣

Mai Maeda

名古屋工業大学 大学院工学研究科
生命・応用化学専攻 2年

愛知県立岡崎北高校 卒業

名古屋工業大学 工学部 生命・物質工学科 卒業

学会や研究室での意見交換が
研究の大きな刺激になっています。

化学反応を起こして新たな“もの”を生み出すことに面白さを感じ、工学部へ進学。実験や研究を通して問題解決力を養うために大学院へ進みました。現在は高分子化学分野で、熱をかけずに硬さを自由に変えられる材料の研究を行っています。学会に参加して多くの方と意見交換することが良い刺激であり、研究の面白さでもあります。また研究室は、中小企業と連携して研究を実施するなど、ものづくりを志す人にとって恵まれた環境です。今後も高分子化学の最先端を追いつけたいです。



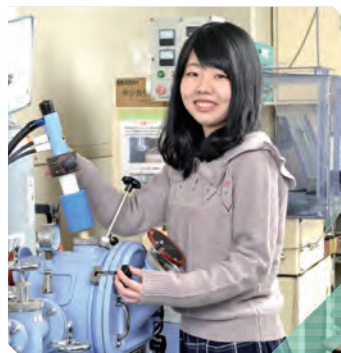
高分子化学の研究に使うLCRメータ。プラスチックのサンプルを入れて装置から電流を流し、その結果得られたデータを解析します。パソコンでグラフ化され、サンプルの状態を観察することができます。

将来は地元のものづくりを
根本から支える仕事に就きたい。

勉強が直接、産業につながることに感動し、工学部へ進みました。単科大学ならではの一体感と居心地のよさを感じつつ、日々研究を行っています。現在は、熱を電力に変換するための材料の強度について研究。試料作りをどんな切り口で行うかなど、考えるすべてのことが勉強になります。また、研究の効率を上げるためにわずかな時間も有効活用することで、スケジュール管理能力も身につきました。将来は業界にこだわらず、ものづくりを根本から支える仕事をしたいです。



研究に使うアーク溶解炉。中に鉄やバナジウムなど金属の材料を入れ、電流で溶解し、混ぜ合わせて合金を作ります。その後、学内にある「ものづくりテクノセンター」で切断、熱処理、研磨を行います。



谷山 友理

Yuuri Taniyama

名古屋工業大学 大学院工学研究科
物理工学専攻 1年

愛知県立豊田西高校 卒業

名古屋工業大学 工学部 環境材料工学科 卒業



伊藤 鈴

Suzu Ito

名古屋工業大学 大学院工学研究科
社会工学専攻 2年

愛知県立千種高校 卒業

名古屋工業大学 工学部 建築・デザイン工学科 卒業

域学連携や日々の研究を通して 人とのつながりや仲間との絆を実感。

幼い頃から家などの建物に憧れがあり、建築の勉強をするために工学部を選びました。現在は域学連携の一環で、岐阜県中津川市の地域づくりやワークショップなどに携わっています。地域の方との交流も楽しく、やりがいを感じています。また建築・デザイン分野は、製図や設計課題など同期と教え合いながら乗り越えていく授業が多く、自然に仲良くなれるのも魅力。充実した環境で学びを深め、将来は「この地域にあってよかった」といわれるような公共施設を手がけたいです。



名古屋市中村区にある豊国神社の大屋根建て替えの際、研究室内で担当を分担して製図から手掛け、告知用看板を制作。本殿の屋根の形状を調べながら、細部まで作り込みました。

研究の楽しさを実感し、大学院へ。 学んだことを生かして活躍したい。

学部3年次のインターンシップで、極寒地で使えるバッテリーの研究を行いました。当初は就職を希望していましたが、学んだ知識を駆使して考え、答えを導く研究に魅力を感じ、大学院へ。そこで半導体工学を専攻しました。大学院で学んだ“勉強する楽しさ”を生かして就職後も活躍したいです。また、研究以外で特に心に残っているのは、学部2年次から続けてきた「彩綾」の活動です(P4参照)。代表も務め、多くのイベントを行う中でできた仲間が、今も私の支えになっています。



古山 実季

Miki Koyama

名古屋工業大学 大学院工学研究科
電気・機械工学専攻 2年

大阪府立槻の木高校 卒業

名古屋工業大学 工学部 電気電子工学科 卒業



研究で実際に作った太陽電池の試作品。条件別、材料別に分類され、全部で60番まで作りました。大学院1年次の上きはこれとは別に、120個もの試作品を作りました。



日常で見つけた アイデアを生かせる デザインの仕事が楽しい。

井上 香菜子

Kanako Inoue

オリンパス株式会社
デザインセンター 商品デザイングループ

名古屋工業大学 工学部 建築・デザイン工学科 卒業

名古屋工業大学 大学院工学研究科 社会工学専攻
博士前期課程 修士・修士（工学）

恵まれた環境で学べた大学時代

私は大学在学中、建築・デザインについて学びました。当時を振り返ると、時間やスペースを気にせずに制作に没頭できる環境があったこと、好きなことに全力で取り組む仲間や先輩がたくさんいたこと、この2つに特に恵まれていたと感じます。

仕事のアイデアは日常生活から

カメラをはじめとした光学・電子機器を製造する「オリンパス」で、デジタルカメラのフィルターの製作や、医療・科学分野の製品に用いられるグラフィックデザインなどを担当しています。与えられるだけでなく、自ら申し出て任せてもらう業務もあり、必要なスキルと興味のあるスキルの両方を高めながら楽しく仕事をしています。テレビや映画、展覧会など、プライベートでインプットしたことが仕事に直結するので、休日でも、ふとアイデアが思い浮かぶことがあります。私にとってプライベートと仕事自然とつながることは、辛いことではなく、むしろ幸せなことです。この働き方が自分に合っているんだと思います。

映像表現の面白さを共有したい

私は大学時代から映像とグラフィックに興味があり、この仕事に就きました。今後は時代の変化を柔軟に捉えながら、映像表現の面白さを多くの人と共有していきたいです。まずは、自分が携わった製品を通してユーザーと共有したい。そしていつか、同じ志を持つ若手クリエイターやデザイナーとも共有して、時代を牽引するようなものづくりに一緒に取り組めたらいいなと思っています。



1. デザイン賞に選ばれた製品に携わったチームメンバーで、その製品を紹介する展示コーナーを設置。通常のデザイン業務に加え、このようなプロモーション支援も行います。2. 自分の担当以外の製品についてアイデア出しを行うことも。業務のほとんどがチームプレーです。

家庭と両立しながら
世界を股にかけて
仕事をしていきたい。

西村 幸子

Sachiko Nishimura

株式会社メニコン
商品開発本部 臨床研究部
プロフェッショナルリレーションリーダー

名古屋工業大学 工学部 生命・応用化学科 卒業

名古屋工業大学 大学院工学研究科 物質工学専攻
博士前期課程 修了・修士（工学）



社会に役立つ研究を

研究者をめざして名古屋工業大学へ入学。大学で学ぶうちに、自分が研究していることが実際にどのように役立つのかを知りたいと思うようになり、修士号を取得した後は企業へ就職し、具体的な製品に関わる研究をしようと思いました。

留学で得た多様な力を生かす

コンタクトレンズメーカー「メニコン」に入社し、商品開発本部に配属。6年目にはイギリスの大学院に2年間、留学しました。留学先では、コンタクトレンズ使用時の目の温度について研究。基礎知識を生かしつつ、自ら研究を進めることで、自己コントロール力や提案力を身につけることができました。異文化に対する理解を深め視野が広がったことも、今後の仕事に生かしていけると感じています。私はちょうど留学が決まった年に結婚をしましたが、仕事に対する夫の理解があり、結婚後も十分に研究に集中することができました。最近も海外出張が入ることもありますが、お互いに助け合いながら仕事と家庭を両立しています。

日本の高い技術力を世界へ

現在は海外現地法人の販促サポートや、海外の工場で生産する製品の研究開発、日本を含めた世界各国で販売する際に必要な承認申請業務などを行っています。視力矯正が必要な人の数は今後ますます増え続けると予想されています。当社の製品を通して日本の高度な技術力と安全性を世界に広めたい。社会貢献をする意識を持ち続けてこれからも頑張ろうと思います。



1. 留学先のカーディフ大学で修士号を取るために書いた論文。タイトルは「コンタクトレンズ装用の眼表面への熱的影響の研究」。2. 留学先から一時帰国し、論文を仕上げてから再び渡英。現地でプレゼンした後、担当教官や審査員とともに記念撮影しました。



多くの人々の努力と
技術を結集させ
新しい自動車を作る。

岡本 佳子

Keiko Okamoto

トヨタ自動車株式会社
第2電動パワートレシシステム開発部
第21システム開発室 主幹

名古屋工業大学 工学部 機械工学科 卒業

大学時代の学びが今に生きる

大学時代は授業を通して幅広い分野を学ぶことができました。特に燃烧学や流体力学の授業が好きで、今でも大学の教科書を見返して参考にするなど、当時の学びが役立っています。一番の思い出は、燃烧学の授業で炎の写真を自分たちで撮影し、現像して論文に仕上げたこと。一つのものを作るためには細かな作業が欠かせないことを実感し、そこでつけた力が今に生かされています。

多くの人と共に自動車を作る

現在はガソリンエンジン制御のプログラム作成を担当しています。仕事のやりがいを感じる時は、自分が開発に関わった車が公道で走っているのを見たとき。特に10年以上も前に関わった車を見ると当時の苦労が思い出され、感慨深いものがあります。車は多くの部品からできているので、開発には他部署や他社など多くの人との連携が不可欠です。大切なのは、相手がどう考えてこの結果を出しているのかを常に考えること。円満な関係を意識しつつ、日々の業務に動んでいます。

後進の女性技術者を支える

最近は女性の技術職も増えているので、職場のワークライフバランスに対する意識も向上しています。私も子どもの送迎があるので、一緒に働く仲間と時間の調整を図りながら家庭と仕事を両立しています。また、優先順位をつけ、短時間で集中して結果を出すということも大切です。今後はマネジメント能力を磨き、後進の女性技術者をサポートしていければと考えています。



1



2

1. 私の所属グループは2017年に発売したC-HRの、エンジン3ZR-FAEを搭載したアメリカ向け車両を担当。海外の担当者とは苦労を重ねながら2年がかりで開発しました。
2. 2019年発売の新型カローラの海外向け車両も担当しました。現在は日本向け車両を開発中です。

現場と密接に関わり、 防災や災害に対する 地域の仕組みを研究。

中居 楓子

Fuko Nakai

名古屋工業大学 大学院工学研究科 社会工学専攻 助教

自由学園 大学部 卒業

京都大学大学院 情報学研究科 社会情報学専攻 修士課程修了・修士(情報学)

京都大学大学院 情報学研究科 社会情報学専攻 博士後期課程(研究指導認定退学)

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 非常勤研究員

博士(情報学)



高知・黒潮町で防災を研究

琵琶湖の近くに住んでいたため、小さい頃から水や環境問題に興味がありました。大学1年生の頃に河川に関する自主研究チームをつくり、砂礫堆や、河川の水質の変遷などについて幅広く研究しました。大学院では高知県幡多郡黒潮町をフィールドに津波避難シミュレーションを使った災害リスク・コミュニケーションの研究に取り組みました。地域住民と避難計画づくりの経験を生かして、現在では黒潮町との共同研究として、町の防災の課題に取り組んでいます。

フィールドの経験と学術的知見をつなげること

大学生、修士課程の頃はフィールドで得たデータや経験に基づいて仮説を作るという研究スタイルでした。しかし博士後期課程に入る頃、研究室の先生から、他の研究者たちによる膨大な知識や研究成果への敬意が不足していると指摘されました。それからは研究への意識を改め、自分が現場で見たこと、経験したことが、学術的な知見からどう解釈できるのかを意識するようになりました。

フィールドをより良く見るために勉強を続けたい

社会を対象にした研究では、実際に現場へ足を運ぶことが大切です。フィールドとの密接な関わりを生かし、今後も防災を軸に、黒潮町の有形・無形のインフラが住民によって自発的に維持される社会的な仕組みを探りたいと思います。これからも、地域の方々の良いパートナーであり続けられるよう、フィールドをより良く見るための技術(理論)を磨き続けていきたいと思います。



津波避難シミュレーション動画:京都大学防災研究所、NHK、タニスタによる共同制作

1. 黒潮町の住民に津波発生時の避難行動についてインタビューを行っています。生の声を聞くことで、数字だけでは分らなかった人々の思いが見えてきます。
2. 地震発生からの避難の様子を表す津波避難シミュレーション。これをもとに住民と避難計画を考えます。



人間関係を円滑にする システムを構築し 社会に役立てたい。

武藤 敦子

Atsuko Muto

名古屋工業大学 大学院工学研究科 情報工学専攻 准教授

名古屋工業大学 工学部 知能情報システム学科 卒業

名古屋工業大学 文部科学技官

名古屋工業大学 大学院工学研究科 助教

博士（工学）

かけがえのない大学生活

高校時代にAI(人工知能)が流行していたこともあり、詳しく学びたいと名古屋工業大学に入学。男女関係なく仲が良く、みんなで一緒によく学び、よく遊びました。また、教養科目では他学科の友人もでき、楽しい学生生活を送りました。

人間関係を築くシステムを構築

友人の存在が、大学生活を豊かにしてくれると思います。だから誰もが多くの友人を作れるよう、人の振る舞いを行動履歴などのデータによって分析し、人間関係を円滑にするシステムについて研究しています。例えば、ICカードやスマートフォンで学内にいる学生の動向を把握し、仲間が多い学生、あるいは独りでの学生を推測。そしてそれぞれを同じグループにする試みを行います。これらを通じて実際に友人が増えたという声を聞くと、とても嬉しそうです。ほかにも、企業と連携し、業務を円滑にするアプローチも行っています。研究活動は、新しいことを思いついて始めるときが一番楽しく、それが結果として現れた時にやりがいを感じますね。

研究を進め、成果を実社会へ

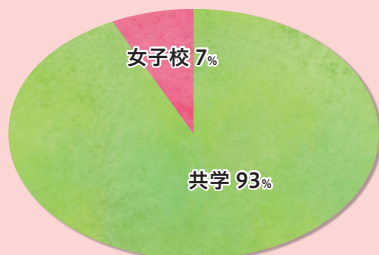
現在進めている研究は個人データを扱うので、実用まで持っていくにはクリアすべき問題が多いのが現状です。でも将来的には、この研究を教育現場や会社などの組織で役立つものになりたいと思っています。そのために、研究スピードをさらに上げていきたいです。研究はとてもやりがいのある仕事。家事や子育てとの両立も必要ですが、みなさんも夢をあきらめずに頑張してほしいと願っています。



1. 学生は学会発表を通じて、プレゼン力やコミュニケーション力を身につけます。より良い発表になるよう、学生一人ひとりが作った原稿にアドバイスします。2. 2017年の京都へのゼミ旅行には娘と一緒に参加しました。勉強会のほか、観光も楽しみました。

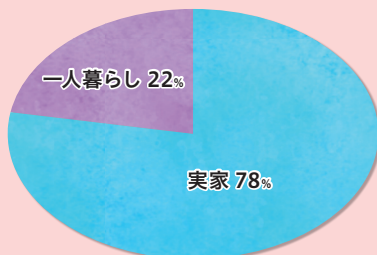
どうして名工大を選んだの?どんな生活を送っているの?女子学生団体「彩綾～SAYA～」のみんなに聞きました!

Q. 高校は共学?女子校?



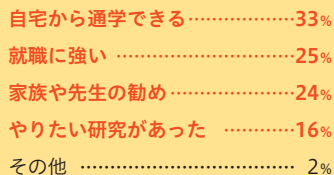
共学の高校出身の学生が多いけれど、女子校出身者も。

Q. 実家?一人暮らし?



実家から1時間以上かけて通学する学生も多くいます。

Q. 名工大を選んだ理由は?



将来を考えて名工大を選んだ学生がほとんど。「雰囲気が好き」という声も。

Q. 部活・サークル活動はしている?

※「彩綾」以外の活動

はい 48%

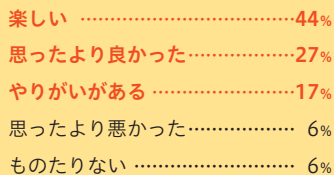
バレーボール部、パトミントン部、ボート部、吹奏楽部、生協委員会、バスケットボールサークル、学外サークル など

Q. アルバイトはしている?

はい 100%

塾講師、カフェ、ホテル、結婚式場、スーパー、遊園地、事務、研究室の手伝い など

Q. 大学生活の感想は?



思い描いていた大学生活よりも、さらに充実した毎日を送っている女子が多数!

Q. 名工大男子との仲は良い?

良い・普通 87%

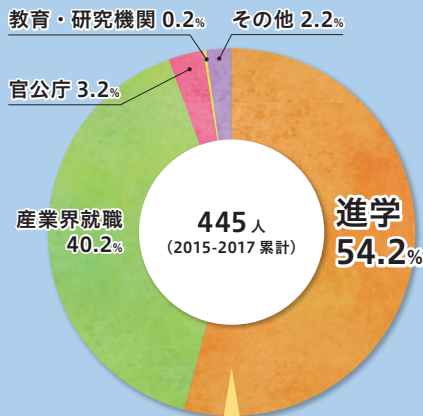
良くない 13%

新入生歓迎会や、忘新年会、ゼミ合宿などイベントが多く、男女関係なく仲良く♪

進学・就職状況

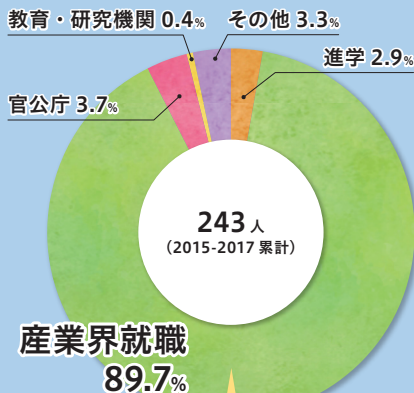
【2015-2017年度 女子の卒業・修了者】

学部(第一部、第二部)卒業者の 進路状況内訳



学部卒業者の進路決定者の女子のうち、約半数が大学院に進学、半数が就職しています。進学者の約95%は名工大の大学院へ。

博士前期課程修了者の 進路状況内訳



東海地方の有力企業や大手メーカーへの就職が多数！自身の研究内容を生かせる企業に就職しています。

【主な就職先】

デンソー、豊田自動織機、アイシン精機、トヨタ自動車、中部電力、日本ガイシ、トヨタ紡織、JSR、トヨタホーム、ブラザー工業、住友理工、旭化成ホームズ、大成建設、FUJI、愛知県、名古屋市、岐阜県、滋賀県、豊田市 など

【主な進学先】

名古屋工業大学、大阪大学、東京大学 など

キャリアサポートオフィス長からのメッセージ

理系女子の皆さん、名工大はリケジョのキャリア支援に特に力を入れています。学内にはリケジョのキャリアを考える女子学生団体「彩綾」も活動していますし、名工大を取り囲む企業のみなさんも本学のリケジョの採用には必死です。是非そんな名工大の門を叩いてみてください。



学長特別補佐
大学院工学研究科 教授 山下 啓司 Keiji Yamashita

EVENT

名工大を知る、体験する機会や
学生生活を思いっきり楽しむイベントがいっぱい！



オープンキャンパス／ 女子学生のためのテクノフェスタ

オープンキャンパスは実際の大学の姿を見る最高の場です。教育や入試情報の確認、研究室や施設の見学などを通して、大学の雰囲気を感じることができます。受験生が名工大の女子学生に直接話を聞く「女子学生相談コーナー」も設けています。また、工学部を目指す女子受験生を対象に、模擬授業や学生・教員との談話会などを行う「テクノフェスタ」を、名工大と豊田工業大学が協同して開催しています。

工大祭

毎年11月に名工大の学園祭を実施。工大祭実行委員会の学生が企画・運営し、模擬店、研究室見学、ライブパフォーマンス、プロジェクションマッピングなどの催しがあり、学生をはじめ、子どもからご高齢の方まで多くの方でにぎわいます。



女性技術者交流会

全学年の名工大女子学生を対象として、企業の女性技術者の仕事内容や育休制度など、女性のリアルな声を聞くことができる交流会を実施（女子学生団体「彩綾」主催・P4参照）。パネルディスカッションや座談会などを通して、自身の将来像をイメージし、進路選択に役立てることができます。



名古屋工業大学女性同窓会 「鶴桜会」交流会



名古屋工業大学女性同窓会「鶴桜会」は、OGや女子学生を対象として、毎年、ホームカミングデーと同時に昼食交流会を開催。世代や専門分野を超えた、「名工大で学んだ女性」という新しいつながりによる交流コミュニティです。





発行：名古屋工業大学 ダイバーシティ推進センター

協力：名古屋工業大学 キャリアサポートオフィス

【お問い合わせ先】

名古屋工業大学 ダイバーシティ推進センター 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL 052-735-5121 E-mail diversity-crew@adm.nitech.ac.jp

HP: <http://www.nitech.ac.jp/diversity/>